



観覧
無料

季刊むさしの「武蔵野スケッチ物語」連載100回記念展覧会

いつもの街を、やさしく描く。

— 水彩画家・大須賀一雄のまなざし —

6/19^金 - 6/29^月 吉祥寺美術館
(6/24^水 休館)

主催 武蔵野市 | 特別協力 大須賀 一雄 | 協力 武蔵野市立吉祥寺美術館・株式会社 文化工房
(公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団)

季刊むさしの「武蔵野スケッチ物語」連載100回記念展覧会

いつもの街を、やさしく描く。

—— 水彩画家・大須賀一雄のまなざし ——

水彩画家・大須賀一雄さんが春夏秋冬の武蔵野市を描く「武蔵野スケッチ物語」。「季刊むさしの」の人気連載として皆さまに愛され、連載開始から25年。2026年夏号で第100回を迎えます。

描き直しができない透明水彩画だからこそ、その場所・その瞬間を切り取ることにこだわる大須賀さんのスケッチ。見慣れた風景も、大須賀さんのまなざしを通じてそっと切り取ると、ちょっと違う趣が生まれてきます。

そんな大須賀さんの代表作や過去の「武蔵野スケッチ物語」掲載イラストなど、合計約90点とともに、25年間の連載を振り返ります。

見慣れたあの建物も、歩き慣れたあの道も、遊び慣れたあの公園も一。身近な風景をやさしく描く大須賀さんのスケッチを通して向き合うと、いつもの街が、なんだか少しとおしく感じられるのではないのでしょうか。



大須賀 一雄（おおすか・かずお）

水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR 東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR 東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）、『透明水彩の世界・ヨーロッパ』および『緑』（旅もようスケッチ会）ほか。2022年まで、JR 東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も30回を超える。

期 間 | 6月19日(金)～6月29日(月)午前10時～午後7時30分
*6月24日(水)休館
場 所 | 武蔵野市立吉祥寺美術館（東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16）
費 用 | 無料（同館常設展示を観覧する場合は別途入館料）

主 催 | 武蔵野市
特別協力 | 大須賀 一雄
協 力 | 武蔵野市立吉祥寺美術館（公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団）
株式会社 文化工房
写真撮影 | キムラ ミハル



武蔵野市公式
WEBサイト



吉祥寺美術館
WEBサイト